

当院の救急当番日(外科)



4月 … 2, 7, 9, 12, 13, 16, 23, 26, 27(※1), 30

5月 … 5, 7, 10, 11, 14, 21, 24, 25, 28

6月 … 2, 4, 11, 14, 15, 18, 25, 28, 29

※1 : 9:00~17:00まで内科救急も行います。

健康急便

2025

春号

(第73号)

久しぶりの新人歓迎会

… P2

職員研修会が開催されました
地域包括医療病棟を開設

… P3

… P3

バトンタッチ
外来診療体制
あとがき

… P4

… P4

… P4

医療法人社団 藤花会

江別谷藤病院

理念

一. 私たちは医療を通して、快適な毎日の生活をサポートします。

二. プロとして、成長し続けるために努力、勉強に努めます。

久しぶりの新人歓迎会

広報委員 萬年 秀憲

長かった北海道の冬も終わりを迎え芽吹き of 時期4月となり、今年も看護部、リハビリテーション科、栄養科などの部署に合わせて24名の方が入職されました。

入職された4月1日には1日をかけてオリエンテーションが行われ、各種委員会や各部署の説明や見学等が実施されました。一日で色々な情報を勉強されたと思いますので、お疲れになられたのではないかと思います。

そしてその週の金曜日、4月4日の終業後には新さっぽろの『ホテルエミシア札幌』にて新人歓迎会が行われました。

新型コロナウイルス感染症が流行しだした2020年1月以降、病院主催で行われていた歓迎会やお祭り、忘年会といった人が集まるイベントは自粛してきました。

2023年5月には新型コロナウイルス感染症が、結核やSARSと同等の2類感染症から、季節性インフルエンザなどと同様の5類感染症へ変更となり、世間的には宴会やイベント等も解禁といった風潮になったように思いますが、そのような中でも当院では感染予防の観点から人が集まるイベントは行ってきませんでした。

ですが、感染状況も落ち着いてきた昨今、職員親睦会『ウイスタリア会』と理事長との話し合いの結果、今年は新人歓迎会を行う運びとなりました。

2019年の忘年会から約6年ぶりに多くの職場の方々が集った新人歓迎会は、親睦会副会長の司会により始まり、理事長のお言葉、親睦会会長の乾杯とつづき、「ああ、やっとこんなふうに職場のイベントを行えるようになったんだなあ〜」となんだか感慨深かったです。



その後はホテルの料理に舌鼓を打ち、周りの方々と歓談をしていると、会の半ばに4月に新入職された方々の自己紹介が始まりました。新卒の方、以前に他の施設で働かれていた方等、一緒に仕事を行う仲間がたくさん増えて嬉しい限りでした。

4月に入職された方々の自己紹介が終わった後には、サプライズ的に昨年11月より内科・循環器内科で勤務されている山中医師のスピーチもあり会場を大いに沸かせました。

そのような感じで進んだ新人歓迎会でしたが楽しい時間はあっという間に過ぎるもので、気が付いた時には終了の時間となり、最後は参与のお言葉と一本締めによって会は無事に終了しました。

今後は以前のように、お祭りや運動会のようなイベントでは入院患者様やご家族と職員の繋がりを、忘年会などでは職員同士のコミュニケーションを高めていけるようになればいいなあと思いました。



最近の出来事

職員研修会が開催されました

広報委員 高橋 舞

3月7日に院内職員研修会が開催されました。

今回の研修会のテーマは「ワクチンで防げる感染症があります」とうことで、meiji Seikaファルマの小林康太さんを講師に迎え、受けられるワクチンの種類や効果、安全性などの最新情報の再確認と、正しい情報の入手について講義がありました。

感染を予防するためのワクチンに期待される効果には、感染予防効果のほか、発症予防効果、重症化予防効果があります。

ワクチン接種を受ければ多くの人はその疾患に対する免疫を獲得しますが、免疫の獲得率はワクチンの種類によって異なります。また、ワクチンの効果は持続時間も様々であり、時間の経過とともに徐々に低下していきます。

ワクチンの効果には個人差もあり、年齢や基礎疾患が影響することがあります。ワクチンを接種して免疫を獲得した後でも感染する人がおり、ブレークスルー感染といいます。

様々な条件から、どのワクチンもその効果は100%ではありませんが、ワクチン接種により免疫効果ができていれば、観戦や発症を防ぐほか、もし発症しても症状が比較的軽く済み、重症化予防など、何らかの効果の恩恵が期待できるとのことでした。

地域包括医療病棟を開設しました

2024年度診療報酬改定にて新設された地域包括医療病棟を当院でも5月より3階病棟と4階病棟の一部で開設しました。

地域包括医療病棟とは、主に軽症・中等症の高齢者の救急患者様を受け入れ、急性期の治療とリハビリ、栄養管理、在宅復帰支援などを包括的に提供することにより、早期の在宅復帰を目指すことを目的とする病棟です。

地域包括医療病棟では医師や看護師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などのリハビリテーション科、管理栄養士、地域連携室のメディカルソーシャルワーカーなどで構成される医療チームが協力することにより、患者様の状態や希望に合わせた在宅復帰計画を立案、実施することができるため、通常の急性期病棟よりもリハビリテーションや栄養管理が充実しており、退院後の生活をサポートするための体制が整っています。

また、地域の医療機関や施設などと連携して、退院後の生活に関する情報を共有することにより、スムーズな生活を送るためのサポートを受けられます。

今後も地域包括医療病棟を活用し、地域の皆様により良い医療を提供できますよう努力してまいります。



バトンタッチ



管理課 駒沢 雅敏

皆さん、はじめまして。管理課の駒沢です。

私は病院の運営が円滑に進むよう、事務作業からサポート業務、機器修繕まで幅広く担当しています。

特に医療機器のメンテナンスや院内インフラ設備の修繕など、設備面での対応を行い、現場のスタッフや患者さんが快適に過ごせる環境作りに努めています。

トラブルが発生した際には、現場に迅速に駆けつけ、問題をいち早く解決する事を心掛けていますが、どの部署に行ってもスタッフの皆さんがとても温かく親切に接して下さいるので、日々感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

プライベートでは、妻と共に温泉やサウナ巡りを楽しみ、心身をリフレッシュしています。源泉かけ流しの温泉でサウナがあればいいです。

更に横浜ベイスターズの応援に情熱を注ぎ、ゲームのBGMを聴きながらリラックスするひと時も大切にしています。

アウトドアのキャンプや車中泊、それに「ネジ」の事も好きです。家でも時にはネジを利用して細かな作業に没頭する事があります。もしベイスターズやネジに関する話題で盛り上げられる方がいれば、是非お気軽に声を掛けて下さい。(笑)

これからも病院の運営がより良いものになるよう、全力で取り組んで参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

次は、4階病棟の介護福祉士・宿南さんにバトンタッチです。



江別谷藤病院 外来診療体制

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	谷藤 高橋	谷藤 大本	大本	谷藤 小野	谷藤	谷藤
	午後	大本	高橋	高橋 小野※1	小野	高橋	
内科	午前	渡部	服部	渡部	服部 山中	山中	出張医
	午後	山中	山中	山中	山中	渡部	
消化器科	午前				足立		
	午後		前佛				
呼吸器内科	午前	渡部		渡部			
	午後		渡部			渡部	
脳神経外科 リハビリ科	午前	黒川	黒川	黒川	野崎	黒川	黒川※2
	午後		野崎	野崎		野崎※3	
もの忘れ外来	午前						
	午後						
リウマチ 専門外来	午前	服部					
	午後	服部			服部		
循環器科	午前	山中	出張医				
	午後						
皮膚科	午前						佐藤
	午後						佐藤※4

※1：診療は14時から開始となります。

※2：第2、第4週のみ診療を行っております。事前にお問い合わせ下さい。

※3：「もの忘れ外来」は予約が必要です。病院受付、もしくは相談室までお問い合わせ下さい。（第2金曜日を除く）

※4：第2、第4週のみ診療を行っております。

医師の不在日等はお電話（011-382-5111）にてお問い合わせ下さい。

～あとかき～

広報委員 神馬 邦明

いつも当院広報誌「健康急便」をご覧いただきありがとうございます。

今年4月の新規採用者は24となりました。私が谷藤病院に勤務し始めて、このような大型採用は初めてのことで、入職手続きはなかなかの手応えがありました。

今号の記事の通り、新人歓迎会には私も参加しました。そこでは新規入職者の皆様とはもちろん、他部署の方々とも交流することができ、円滑な業務遂行に繋がるであろう貴重な時間となりました。このことから親睦会の役割の大切さを改めて実感しました。役員の皆様お疲れさまでした。

<発行元>

医療法人社団
藤花会 江別谷藤病院
広報委員会

北海道江別市
幸町22番地
Tel. 011(382)5111